



車内の金城学院大学

70限目

「国際関係学」

「世界遺産」のきっかけはダム建設？」

[世界遺産]

20世紀半ば、エジプト政府はナイル川の氾濫を防ぐために「アスワン・ハイ・ダム」というダムの建設を計画。大規模な工事を伴うこのダム建設には巨額の資金が必要であり、資金調達をめぐる「スエズ動乱」という国際紛争も勃発しました。最終的にソ連の援助を得て計画は実現しましたが、一方で古代エジプトの「ヌビア遺跡」が水没するという大きな問題が生まれました。この状況に際しユネスコは、世界60カ国の援助を取り付け、ヌビア遺跡を代表する「アブ・シンベル神殿」を丸ごと移築したのです。この活動がきっかけとなり、国際協力のもとで貴重な遺跡や自然を保護する機運が高まり、1972年に「世界遺産条約」が締結されました。世界遺産とは、近代化の波によって失われかけた遺跡を国際社会が力を合わせて守ったことで生まれた世界共有の財産です。私たちはその価値を学び、次世代に継承していく必要があるのです。

世界の結束力を知り、豊かな国際社会を描く。それが国際情報学部 国際情報学科 グローバルスタディーズコース。

強く、優しく。



金城学院大学